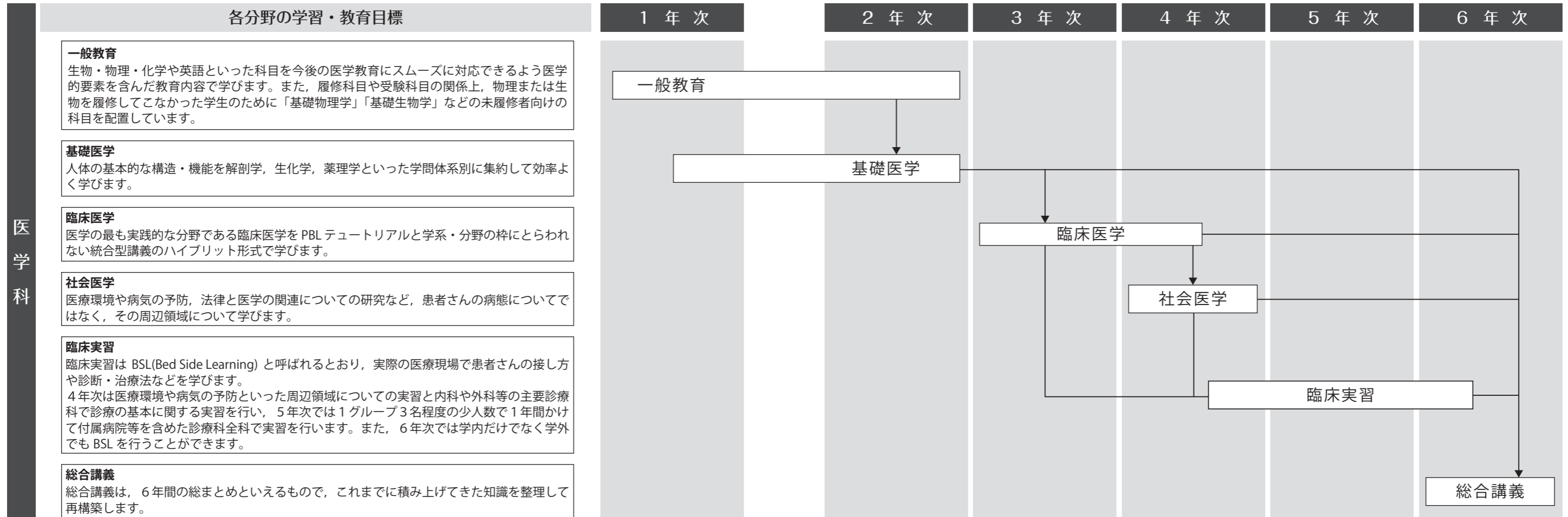


履修系統図

病める人々に対して思いやりの心を持って接し、奉仕することをいとわない良き臨床医と、優れた医学研究者、並びに情熱を持ってそれらの養成に当たる教育者の育成を目指しています。従来の受け身型教育から自己啓発型教育への転換を図り、入学から卒業までの6年間を通じて、一般教育、基礎医学、臨床医学、社会医学の各分野を総合的に学習し、人間性に溢れた倫理観のある人材育成に努めています。



カリキュラムの主な概要

6年間を通じて、一般教育、基礎医学、臨床医学、社会医学の各分野を総合的に学習します。1年次では一般教育科目とともに「医学序論」・「自主創造の基礎1・2」を配置し医師を目指す者としての使命感・倫理観を学ぶことに加え、自主的に考え学習していく姿勢を育みます。1年次後期からは基礎医学を学問体系別に集約して効率よく学習します。3年次から4年次前期にかけては従来の知識伝達型の講義ではなく、学生自ら問題点・解決方法を抽出していくPBL テュートリアルを導入して臨床医学を学びます。これにより自分で考え、自分で問題点を抽出し、解決に向けて努力するという学習習慣を定着させ、4年次後期から始まるBSL（臨床実習）に備えます。BSLは、4年次で内科や外科等の主要診療科で診療の基本的事項について学んだ上で、5年次では1グループ3名程度に分かれ、救命救急センターをはじめすべての診療科で行います。6年次では、総合講義でそれまでの講義や実習を総合的にとらえ直し、知識を深めます。その他、自由選択学習（学外・海外も選択可能）や、選択BSLを設け、学生の自発的な学習意欲に応えています。

履修について

1. 授業科目の履修方法は「学年進級制」であり、留年した場合は当該学年の全授業科目を再度履修します。
2. 授業科目は一部で選択制のほか、すべて必修です。
3. 1・2年次においては、良き臨床医・医学者になるために必要不可欠な一般教育および医学専門教育に必要な基礎的教育を学習します。
4. 3～6年次においては、医学に関する専門的知識および技能を習得するのに必要な臨床医学科目・社会医学科目・臨床実習科目および統合的な授業科目を履修します。
5. 臨床実習は、直接患者さんに接しながら体験的学習をするので、その時期までに医学の全領域にわたり基本的知識と技能の基礎を習得しておく必要があります。